

電気工学科の生徒にインタビュー！

電気工学科の生徒の方に、授業や学校生活についてお話を伺いました。

○インタビューを受けてくださった方

佐々木 開都さん

電気工学科の3年生。ジュニアマイスター30pの資格を取得し、ものづくりコンテストで入賞した。後輩の指導を丁寧に行っている。

山本 拓海さん

電気工学科の2年生。テニス部と資格取得の文武両道を実現している。クラスメイトのことを気遣った行動で教えあいが上手である。

どんなことを勉強するの？

— 専門教科の中で、特に好きな専門教科について教えてください。

佐々木 電力技術です。

電気を作る発電から送る送配電、制御まで幅広く学んでいます。特に配電は、身近にあり学びやすく、理解を深めやすいので好きです。

山本 電気基礎です。

電気技術に関する専門知識の修得および法則や基礎理論の学習を行います。問題を解いていくのが楽しいから好きです。

— これまで行ってきた実習の中で、特に楽しかった実習について教えてください。

佐々木 シーケンス制御です。

出題された課題を行い、実際に動作するのかわを確認しました。初めは理解することができませんでしたが、理解できたときに応用を自分で考えて組むことができた瞬間が一番楽しかったです。

山本 リレーシーケンス制御です。

出された問題と同じ動きになるように銅線を接続する実習です。自分の思った通りにランプが光ったりするのが楽しいです。

専門教科って難しいの？

— 専門教科と聞くと難しそうですが、ついていくのは大変ですか。

佐々木 基礎を理解できないと大変だと思います。電気工学科では、基礎としてオームの法則をはじめ、多くの公式を学びます。逆に基礎さえできれば多くの点がつながり、ほかの科目が理解しやすくなると思います。

山本 最初は理解するのは難しいと思いますが、理解をすればついていくことができると思います。

どんな資格・検定を取得するの？

— これまでに取得した・取得を目指した資格や検定の中で、特に頑張ったものについて教えてください。

佐々木 第三種電気主任技術者です。

5万V（ボルト）未満の保守・点検を自分の責任で行うことができます。学校はこの資格を持っている人たちが保守・点検しています。試験の9ヶ月前から勉強を始め分からない問題を先生に質問したり、夏休み3日間名古屋工学院で行われた勉強会に参加しました。

山本 第一種電気工事士です。

工場やビル、マンション、公共施設などの配線や電気設備の施工が可能になる資格です。筆記試験は過去問を何度も解いて、実技試験も候補問題を何度も作りました。

どんな先生が教えて下さるの？

— 電気工学科の自慢の先生を教えてください。

佐々木 第一印象が怖いですが、優しく面白い先生たちが分かりやすい授業をしてくれます。

山本 電気工事関係の資格をたくさん持っている先生が、授業や資格のことについて教えてくれます。



どのように部活に取り組んでいるの？

— 所属している部活動について教えてください。また頑張っていることを教えてください。

佐々木 電気研究部です。

1、2年生の時はものづくりコンテスト電気工事部門の選手として出場し、3年生ではものづくりコンテストのために後輩を指導しました。

山本 テニス部です。

大会で勝つために自分の苦手なことを練習しています。

— 部活動と勉強の両立をどのように頑張っているのですか。

佐々木 テストの1か月前から2～3時間は勉強するようにし、大会期間も同じように勉強していきました。

山本 放課後、資格の勉強をした後に遅れて部活に参加したり、休み時間などでも勉強をしています。

中学生へメッセージ

佐々木 電気工学科は大きな電力会社や電気工事屋、工場の保守・点検など多くの就職先があります。また就職だけでなく、進学することもできます。

山本 電気工学科では、色々な資格を取得するために、色々な本の貸し出しを行っているので、資格の取得がとてもしやすく就職にも生かすことができます。

— インタビューを受けてくださり、ありがとうございました。

佐々木・山本 ありがとうございました。

インタビューを終えて

電気工学科では、送配電や制御など色々な専門知識を学べ、色々な資格を取得でき、楽しく将来に役立つことを多く学べる学科だと感じました。興味をもって貰えたら、是非、電気工学科を見学してみたいかがでしょうか。

この記事は令和4年12月時点の情報です。

作成：令和4年度 後期生徒会